

声 Voice

朝日新聞 2019年（令和元年）5月16日（木）

くすぶる心動かされた言葉

大学生 岡口 佳世

（奈良県 32）

かと考えるようになっていた。

新年度が始まり、ゼミでは志望

動機の書き方や模擬授業など採用

試験対策が中心となり、悩みはく

すぶり続けた。そんな時、東京大

学の入学式の祝辞で、上野千鶴子

名誉教授が「恵まれた環境と能力

を、自分が勝ち抜くためだけに使

わず、恵まれない人々を助けるた

めに使ってほしい」と語った言葉にハッとさせられた。

貧困による教育格差や外国人児

童の指導についての授業を通じ

て、初めて知ったり気づいたりし

た実情を少しでも改善すべく力に

なりたい。大学で得た知識や情報

を活用し子どもたちに寄り添い、

一緒に問題を克服し道を開きた

い。くすぶっていた心を動かされ

た言葉を胸に、教員になるという

目標へ新たにスタートしたい。

英会話講師時代、教授法や教育理論などを知らなかったことと、小学校教員になりたいという思いがあり30歳で大学に入学。大学の授業や学習支援のボランティアで多くを学んだ2年間だったが、目指す先は学校現場の教員でよいの

承諾番号「19-2292」

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。